

旭が丘小だより

自ら正しく行う旭っ子

令和7年1月9日 NO.20

大村市立旭が丘小学校 校長 赤木 章二

令和7年がスタートしました！

あけましておめでとうございます。令和7年（2025年）が始まりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年は巳年です。巳（へび）は脱皮を繰り返し成長する生き物であることから、再生と復活、変容や成長を意味するとされています。また今年は、乙（きのと）の年です。乙巳は、これまでの努力や準備が実を結びはじめ、勢いを増していく年になるそうです。様々なことにチャレンジ（挑戦）して、飛躍する一年になることを願っています。旭が丘小学校の子どもたち一人ひとりが目標に向かって精いっぱい努力し、素晴らしい一年になるよう励まし、支えていきたいと思えます。3学期も、保護者の皆様のご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



旭っ子の誇れるところ！

昨日、全校児童が一堂に会して3学期始業式を実施しました。副校長先生の講話では、「自分に負けない心」と「人に優しい心」をもつことを子どもたちに話されました。「苦しいことや嫌なことから逃げ出さず、粘り強く頑張る心を身に付けてほしい。人に優しく接し、相手を傷つけない言葉で話してほしい。」と、子どもたちに話しかけておられました。話を聴いている子どもたちの真剣な眼差しから、一人ひとりの心に伝わっていると感じました。しっかりと話を聴くことができるところが旭っ子の素敵ところです。また、子どもたちの整列の仕方、待つ姿勢も素晴らしく感動しました。699名の子どもたちが、誰一人として、おしゃべりをせず、静かに式に参加することができていました。このような雰囲気を作ってくれたのは高学年です。6年生は朝早くから体育館の床にモップをかけたり、窓を開けたりしてくれました。5年生は低学年が体育館に集合する10分以上も前から、寒い中、冷たい床に座り、静かに姿勢を正して待っていました。その姿のおかげで、後から入場してきた中学年・低学年も倣うことができました。高学年の皆さんに感謝するとともに、これからも下級生に素晴らしいお手本を見せてくれることと期待が膨らみました。



今年の抱負は・・・？！



3学期始業式の中で、4年1組の田淵柚晴さんが、児童代表として3学期に頑張りたいこと（はきはきと発表する。当番活動を充実させる。）や今年の抱負（下級生のお手本となる5年生になる。）について述べてくれました。ステージに上り、全校児童の前で堂々と発表してくれました。人前で話すことは、大変緊張します。ましてや全校児童の前となるとなおさらです。しかし、この経験をとおして、また一つ成長することができたと思います。大役にチャレンジする勇気をもてたことも素晴らしいです。

柚晴さんの発表のおかげで、自分も頑張ろうという気持ちになった子どもたちがたくさんいました。旭っ子の頑張りを予感させる素敵な一年の始まりとなりました。